

「外国人早期適応研修カリキュラム」研修案

企業名 (担当者名)	愛知商工連盟協同組合
テーマ (選んだ理由)	第1章「働く / お金」P6~P8

目安時間	項目	内容
	◆事前準備物	実習生 ・テキスト、ワークシート、宿題 教師 ・テキスト、指導者マニュアル、PC、PP（雇用契約書、雇用条件書（技能実習機構）、給与明細（ガイドブック見本）、技能実習手帳
	◆到達目標	1. 契約に書かれている内容を正しく理解する。 2. 給与明細に書かれている内容を理解する。 3. 給与から「控除されているもの」について理解する。
5	◆事前課題の確認	・事前にテキストを予習。わからない言葉を調べておいてもらう。調べても分からない言葉はあったか確認する。（出てきた回答を活動中に意識的に入れるためメモする。）
	◆ウォーミングアップ	・働いたことがあるか問いかけ（挙手してもらう） ・契約書、給与明細の存在を知っているか聞く。 ・ミャンマーでの契約、給与について聞いてみる。 働くうえで、契約書、給与明細が必要なのはどうしてか問いかける。
	◆活動内容	・ <b>契約書</b> 1. 問いかけ 自分が働くとしたら、何が知りたいか考えてもらい、答えてもらう。（本当はグループワークをしたいところだが、時間的に難しい。） 2. 雇用契約書、労働条件書の導入 契約内容に合意したことを示す書類であることを説明をする。 （働いたら賃金を支払いますという約束をするもの） 3. 技能実習生機構の雇用契約書、雇用条件書を共有する。（ミャンマー語訳つきのもの） テキストの項目がどこにあるのかを考えてもらい、答えてもらう。日本語の読み方も一緒に確認。 ・ <b>給与明細</b> テキスト 1-2. 給与明細見本を共有する。何が書かれているか一緒に確認。 大項目①支給②控除③勤怠④差引支給額（①-②） ※ワンスライド、ワンワードにする。 会社によって書式が違うことを説明。 書かれている内容はほとんど同じ。

コメントの追加 [0岩成1]: 各項目の時間配分の記入をお願いします。

コメントの追加 [0岩成2]: どれも大変良い問いかけ内容で、この後のメイン活動にスムーズに移行できますね。研修全体の組み立てを綿密にしっかり考えられていて素晴らしいです！

コメントの追加 [0岩成3]: 一つ一つの内容について、目標達成のための流れを詳細に無駄なく計画されて、とても良いと思います。

		<p>①支給 見本のどこにあるか一緒に確認し、具体的に<b>ど</b>ういうお金か答えてもらう。(テキストを見ながらで可。読み、発音の練習も兼ねる)</p> <p>②控除 (今回の章の難所。実習生から一番質問がある箇所) まず、どうして払う必要があるのか説明。 日本で働く場合は、誰でも払う必要があることを説明。</p> <p>支給から控除を引いたお金が、支払われるお金(手取り) 例) 総支給額 20万 控除 約3万                      手取り 約17万円</p> <p>技能実習手帳を知っているか確認。知らないようなら紹介。アプリもあり。 ①と同様、見本のどこにあるか一緒に確認し、具体的に<b>ど</b>ういうお金か答えてもらう。(テキストを見ながらで可。読み、発音の練習も兼ねる)</p> <p>③勤怠 見本のどこにあるか一緒に確認し、具体的に<b>ど</b>ういうお金か答えてもらう。(テキストを見ながらで可。読み、発音の練習も兼ねる)</p> <p>④差引支給額 ②で説明したことを確認。</p> <p>振り返り</p> <p>1. 雇用契約書を共有し、何か答えてもらう。 何が書かれているか質問する。</p> <p>2. 給与明細を共有し、何か答えてもらう。 何が書かれているか質問する。 実際に支払われる金額はどこに書いてあるか質問する。</p> <p>最後に</p> <p>契約書、給与明細に何が書かれているか必ず確認すること。おかしいなと思ったらすぐに相談すること。あなたを守る大切なものであること。絶対に捨てないことを伝える。</p>
<p>&lt;工夫したこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が多いため、常に双方向のやりとりが難しいが、自分のこととして考えてもらえるよう問いかけ、一緒に確認することを意識的に行うようにした。</li> <li>・時間内に契約書、給与明細を100%理解するのは難しいため、<b>あえてシンプルにした。</b></li> </ul>		

コメントの追加 [0岩成4]: こういう工夫も必要で、大切なポイントですね。

・講習が終わった後も自分で調べてみようという気になるようにした。

<成果と課題>

- ・限られた時間の中でどこまで盛り込むか。
- ・参加者の理解度により、進み具合が変わってくる。
- ・人数が多いため、理解したかを確認するのが難しい。→宿題で確認することとする。

コメントの追加 [0岩成5]: 受講者さんが「後で自分でも調べてみよう」と思うような工夫について、具体例を付記していただけると有難いです。

コメントの追加 [0岩成6]: これは、次回の研修で確認ということですね？